

## 人権・同和教育 視聴覚ライブラリー(DVD)

2026年4月現在

番号	作品名	種別	上映時間	内容
D-1	新 泣いた赤おに	アニメ	20分	村人と仲良くなりたいと願う「赤おに」は「青おに」の助けで村人の信頼を得る。自分のために犠牲になってくれた「青おに」を心配して彼の家を訪ねると、家の入り口に「赤おに」への手紙が張ってあった。
D-2	折り梅	ドラマ	111分	同居することになった義母が突然、「アルツハイマー型認知症」になったことで崩壊しかけた家族。そんなある日、思いがけず出会った絵の世界。絵筆を握ることで自分の居場所を見つける義母。義母の純粋さにふれ、認知症と正面から向き合う決心をする家族。丸ごと受け止められた義母は、周りのだれもが想像できなかった絵の道を拓いていく…。実話をもとにした感動作。
D-3	めぐみ	アニメ	25分	北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」は、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いた25分のドキュメンタリー・アニメです。 このアニメは、漫画「めぐみ」(原作・監修:横田滋・早紀江、作画:本そういち、出版社:双葉社)をモチーフとして制作しました。
D-4	ユキエ	ドラマ	93分	戦争花嫁としてアメリカに渡った日本人女性、ユキエ。やがて40年の歳月が流れ、彼女は夫リチャードやふたりの子どもたちとともに平和に暮らしていた。しかし、そんなユキエにアルツハイマー病の兆しが見え始め…。
D-5	虹のきずな	アニメ	31分	小学校の図書館で読み聞かせのボランティアをしているひかりが出会った、中国人の転校生・タオロン。つたない日本語が原因でいじめられるようになってしまったタオロンに、ひかりは声をかけられずにいた。実はひかりには、いじめを傍観した過去があったのだ。そんなふたりが一冊の絵本に出会い、踏み出した一歩とは…?
D-6	誇り「差別といじめは越えられる」	ドラマ	30分	震災から一月半後。原発事故の子どもへの影響を『心配して』鈴木夫婦は、2人の子どもと匡夫の実家のある町へ引っ越してきた。そこには、避難住民をサポートするNPO法人のようなボランティアがいる一方で、親戚や周囲の冷たい眼もあった…。

D-7	今、社会と職場の人権は！	ドラマ	36分	「増え続ける高齢者の問題」「子育てする女性の問題」「パワ・セク・ハラスメントの問題」「同和問題」に視点を当て、誰もが地域と職場で自分の持っている能力や個性を発揮し、生きがいを持って働ける環境づくりの大切さを問いかけていきます。そして、皆が『いきいきと安全で安心できる社会』の取り組みと、共に支え合う「共生社会」の実現をめざす人権問題学習教材用ドラマである。
D-8	いじめと戦おう！【小学生編】	ドラマ	21分	小学6年生のひなたのクラスである日事件が起こる。さくらのくしゃみが由衣の背中にかかってしまったのだ。さくらをバイキン扱いして逃げ回る由衣と、ハンカチで拭いてあげようとするさくらの追いかっことでクラス全体が盛り上がるが、この事をきっかけに徐々にクラスの様子がおかしくなっていく。
D-9	いじめと戦おう！【中学生編】	ドラマ	23分	中学生の自殺を含むいじめの報道が相次ぎ、全国的に子どもの命や尊厳を守るための取り組みが必要とされています。いじめはどのようにして起こり、どうすれば防げるのでしょうか。いじめられる立場だけでなく、傍観している生徒たちが如何にして、クラスの“いじめの構図”を崩せるかという視点を中心にいじめ問題全体について話し合うために活用してください。
D-10	風の旅人	アニメ	30分	最重度の障害で、動くのは片手だけの青年、宇都宮辰範さんの実話にもとづいた作品。ベッド式車椅子に横たわり、道行く人に声をかけることによって、目的を成し遂げます。彼はこの歩行法で出身地の愛媛を旅立ち、東京に至り、「他者の力を借りながらの自立生活」をはじめます。東京で彼は、障害がなくても社会的に「孤立」し精神的に「自立」していない青年たちに、日常生活介助を通じて「自立」させます。そんな彼が、見ず知らずの人に声をかけるようになるまでの葛藤が描かれています。障害とは何か、また障害の有無にかかわらず、「真の自立」とは何かを深く問いかける作品です。
D-11	人権のヒント 職場編 気づきのためのエピソード集	ドラマ	22分	ごく普通の会社員の日常を描きながら、日頃は気付かない「人権のヒント」を探り、職場のなかで私たちが考えるべき人権問題について提起する内容。
D-12	人権のヒント 地域編 「思い込み」から「思いやり」へ	ドラマ	25分	街の喫茶店「カフェ・ヒューマンライツ」には様々な想いを抱いた人々が集まってくる。その交流の中から「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していく内容。
D-13	がんばれスイミー	アニメ	26分	オランダの作家レオ・レオニが描いた絵本で、日本でも多くの読者に読まれる『スイミー』 珊瑚の周囲で暮らす魚の一家。兄弟たちはそろって赤いが、一匹だけ真っ黒な魚スイミーがいた。ある日、マグロに追われて家族や仲間とはぐれたスイミーは、一人で海を泳ぐ。彼は小さなイワシの群れが大ダコやウツボから身を守るため、身を寄せ合って大きな壁となる姿に感動。外海でいろいろなことを学んだスイミーは、心身ともにたくましくなって仲間のもとに戻るが……。

D-14	聲の形	ドラマ	30分	「このマンガがすごい！2015 オトコ編」第1位を受賞した感動作「聲の形」(講談社『週刊少年マガジン』)が道徳・人権学習用教材ドラマとして生まれ変わりました。将也のクラスに転校してきた硝子は聴覚障がい者だが、筆談ノートで積極的に皆に語りかける。当初は好意的に受け入れていた将也やクラスメイト達だったが、硝子が原因で授業が止まったり、筆談ノートの煩わしさに徐々にストレスを感じていく。そして学校の名物行事である合唱祭の入賞を逃したことを切っ掛けに、硝子はいじめの標的になってしまう。黒板や机に悪口を書かれたり、体育の時間にボールをぶつけられたり。そんなある日、最悪の事件が起こる…。
D-15	みんなの情報モラル I アニメーションで学ぶ！ ネット社会のルールとマナー	アニメ	43分	「夢中になりすぎて」「ホントの友だち」「かくれた情報」「送った写真」「乗っ取られたアカウント」「甘い言葉のかけに」の6つのタイトルで、それぞれにスマホやネットとのつきあい方を学び、気付かせるアニメーション作品。
D-16	障がいを越えて	ドラマ	30分	障がい者は、自分とは違う世界の人……。自分とは違う存在や理解しにくい相手を恐れ、排除してしまう…そんな「心のバリア」を、あなたも感じたことはないですか？この話しに出ている人たちの多くも、最初は壁を感じていました。しかし相手に向かって一歩踏み出すことで、必ず壁には穴があき、そこから新しい景色が見える…。そんな3つの事例を追いかけてきました。 『こころおと』 『ジェネシス オブ エンターテイメント』 『ダイアログ イン・ザ・ダーク』
D-17	とべないホタル	アニメ	17分	ある夏の夜のことです。小川のほとりにある「ホタルのお宿」から、次々と成長したホタルが飛び立ちました。 でも、一匹だけ羽がちぢんで生まれたために飛ぶことが出来ないホタルがいました。 そこに、ホタルを取りに来た仲の良い姉と弟が、とべないホタルを捕まえようとしてます。 「あぶない！」身動きできないホタルをかばって、勇気あるホタルが男の子の手の中に…。
D-18	シリーズ映像でみる人権の歴史 第1巻 東山文化を支えた「差別された人々」	解説	16分	銀閣寺や龍安寺の庭園などを造ったのは「川原者」と呼ばれた差別された人々だった。「川原者」は差別を受けていたにもかかわらず、偉大な芸術家になったという事実を描いた教材。新しい研究成果と教科書記述の変化をふまえ、発見された最新の資料を活用して映像化し、中世に焦点を当て、差別された人々と差別しなかった人たちの両者によって築かれた東山文化について丁寧に描いている。

D-19	シリーズ映像でみる人権の歴史 第2巻 「江戸時代の身分制度と差別された人々」	解説	15分	中世に始まったすべての身分が、江戸時代に「制度化」されたことをわかりやすく解説し、かつての「士農工商えた非人」の図式に代え、新しい図式を提示しています。また、部落差別の学習を通して「いじめ」の問題を考える学習に発展させることもできる教材です。
D-20	ココロ屋	アニメ	25分	「ココロ」とは何でしょう？これは私たちにとって永遠の謎であり、自分の「ココロ」を問い続けることが、私たちの人生のテーマの一つでもあります。「ココロ屋」は、この謎に向かい合うためのヒントとなる優れた児童文学を原作にしたアニメーション。自分の心を大切に、相手の心も大切にするという、人権教育の基本的な考え方が盛り込まれています。この作品に登場する「優しいココロ」や「素直なココロ」については、アサーションの考え方を児童にわかりやすく伝えるためのツールにもなります。
D-21	これが私の生きる道～仲岡しゅん～	ドキュメント	30分	仲岡しゅん(34)、男性の戸籍をもちながら女性弁護士としてテレビやラジオ、さらに年間100回を超える講演で全国を飛び回っています。自身の体験や弁護士経験を裏付けに偏見や差別の不合理をスカッとぶった切ります。「皆違って、皆いい」の本質を詳細に解説している作品です。
D-22	パパは女子高生だった！～前田 良～	ドキュメント	28分	女性から男性へ性別転換し、結婚、その後二人の子をもつ父親となった前田良(37)。一審、二審で敗訴しながら、最高裁で勝訴、日本で初めて戸籍上で実子と認めさせました。イラストレーターの妻の絵を使った処女作「パパは女子高生だった」も絶賛発売中。
D-23	ねずみくんのきもち	アニメ	12分	ロングセラーのねずみくんの絵本シリーズの中の『ねずみくんのきもち』を映像化し、いじめやコンプレックス、自然とのつながりなどの大切なテーマをねずみくんと一緒に学べるアニメーション。相手のことを大切に思う心、思いやりが大切なこと、みんな違っていいこと、みんな本当はすばらしいところを持っているということを学習するストーリー。
D-24	話せてよかった	ドラマ	27分	「手伝うんじゃないで、一緒に」「その人自身と向き合う」「話せてよかった」の3つのドラマで、日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。
D-25	みんなの情報モラルⅢ アニメーションで学ぶ！ SNSに潜むリスク	アニメ	21分	「やさしさの裏に」「失ったもの」「広まるうわさ」の3つのタイトルで、SNSとの付き合い方を学び、気付かせるアニメーション作品。

D-26	<b>ズッコケ三人組のいじめをなくす作戦</b>	アニメ	15分	学校に来ていないヒロシが、いじめられていることを知り、ズッコケ三人組は悩みます。ヒロシから、いじめを受けてどんな気持ちになったかを聞いたモーちゃんは、見て見ぬふりをしてしまったことを猛反省！帰国子女のユリコの「いじめをなくすには」という作文発表を聞き、大いに刺激を受けた三人組とヒロシは、「自分たちもいじめをなくすために立ち上がろう！」と相談を始めます。ズッコケ三人組の「いじめをなくす作戦」は、はたして成功するのでしょうか…。
D-27	<b>レインボーストーリーズLGBTsと社会 ②家族～自分の子どもが当事者だったら～</b>	ドラマ	21分	同じ家に住み生活を共にする家族。最も近い存在だからこそ、本当のことが言えず苦しんでいるLGBTsの人々は数多くいます。本巻では、性の多様性に関して実感を伴った理解がない親が、ゲイである青年期の息子を追い詰めてしまう様子、親子が葛藤しながら関係を再構築する姿を描きます。
D-28	<b>夕焼け</b>	ドラマ	35分	テーマは「ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～」です。相手が家族や親しい人であっても、毎日誰かの介護や世話をすることは、身体的、精神的、さらに経済的にも大きな負担がかかります。特にヤングケアラーは、学校に通い、教育を受け、友人と交流をして成長する重要な時期であるにもかかわらず、その状況が周囲から見過ごされることが多いという問題があります。この作品では、お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことがケアラーと家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。
D-29	<b>スマホは情報モラルが大切 1巻～ネットいじめをしない！SNSでの出会い に気をつけよう！～</b>	ドラマ	25分	多くの中学生・高校生が、スマホを使ってSNSを利用しています。本作品では、「ネットいじめ」「SNSでの出会い」の2つのテーマを取り上げ、それぞれドラマ編と解説編で構成。視聴した生徒が、ドラマの中の出来事を自分だったらどうするかと考え、情報モラルが育成されることを狙いとします。
D-30	<b>あなたの笑顔がくれたもの ～周りから見えにくい障害・生きづらさ～</b>	ドラマ	37分	「人権」は日常の何気ない人と人との関係性の中にもあります。しかしながら、普段そのことを当たり前のように理解しているつもりでも、家族や友人、同僚などの近く親しい関係においては、相手を一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあります。外見で決めつけたり、「障害者」や「ヤングケアラー」などカテゴリーで人を判断したりせず、一人一人が考えや感じ方も違う人間であるということを理解して向き合うことの大切さをこのドラマを通して学んでいくことができます。
D-31	<b>一瞬の雨</b>	ドラマ	28分	非正規雇用の単身世帯、母子家庭、学生の生活苦は、コロナ感染拡大によって、厳しさを増しました。しかし、生活保護申請を始め、公的支援や民間支援団体へ救済の声を上げることをためらう人たちは少なくありません。本作品は、救済を求めることへの抵抗や恥ずかしさをつくっているものは、何なのかをみつめ、だれもはじき出さない社会をつくるために、いま私たちに何が求められているのかを改めて問い直す作品です。

D-32	みんなの情報モラルⅡ アニメーションで学ぶ！ ゲーム機、スマホ安全教室	アニメ	21分	「ゲームのやくそく」「あとすこし、もうちょっと」「ホントはどんな人？」の3つのタイトルで、ゲーム機、SNSとのつきあい方を学び、気付かせるアニメーション作品。
D-33	みんなの情報モラルⅥ 情報発信の影響とその責任	アニメ	20分	「軽はずみな投稿」「勝手な思いこみ」「つながる情報」の3つのタイトルで、SNSとのつきあい方を学び、気付かせるアニメーション作品。
D-34	大切なひと	ドラマ	34分	インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的とした人権啓発ドラマです。
D-35	言葉があるから・・・	ドラマ	31分	あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション(小さな攻撃性)」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。 自覚なく加害者にならないために・・・。属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを、このドラマでは描いています。
D-36	みんなの情報モラルⅣ スマホに隠れた闇	アニメ	18分	「ホントはだれ?」「確かめもせずに」「無料のかけで」の3つのタイトルで、SNSとのつきあい方を学び、気付かせるアニメーション作品。
D-37	いつの間にか拡散 ネットに潜む部落差別	ドラマ	21分	近年では、情報化社会の進展により私たちの生活は大きく変化し、それに伴い差別の形態も変わってきました。インターネット上では、電子掲示板やSNS、動画投稿サイトなどにおいて、プライバシーの侵害や名誉棄損、差別的な書き込みなどが全国的に発生しています。 この作品では、インターネットに潜む差別意識を解消するにはどのような対策を講じるべきかを示し、部落差別に負けない力をつける必要性を訴えています。
D-38	みんなの情報モラルⅤ アプリと上手につきあうために	アニメ	20分	「アプリのダウンロード」「ムービーはだれの手に」「仕返しその先は・・・」の3つのタイトルで、SNSとのつきあい方を学び、気付かせるアニメーション作品。



D-39	みんなの情報モラルⅦ メッセージに仕組まれた罠	アニメ	21分	「偽りのショートメッセージ」「高額バイトにつれられて」「裏アカだから」の3つのタイトルで、SNSとのつきあい方を学び、気付かせるアニメーション作品。
D-40	ハテナを分かち合い、 カラフルを分かり合う	ドラマ	26分	職場には多様な価値観や背景を持つ従業員が集い、そこにはさまざまな人権課題が存在しています。 本教材では「世代間ギャップ」「アンコンシャス・バイアス」「多様な性」「こころの病気」「部落差別」などをテーマに、互いの状況や抱える想いに目を向けること、そして気づいた違和感(=ハテナ)を伝え合うことの大切さを示します。
D-41	「無自覚」に気付く！ ～誰もが当事者 職場のハラスメント～	ドラマ	25分	職場でのハラスメントは誰もが当事者になる可能性があり、「自分には関係ない」「自分は大丈夫」という思い込みが、ハラスメントの原因になることがあります。 本作は、近年多発している事例を取り上げ、年齢・性別・立場もさまざまな人物を描くことで、自身の日頃の言動を顧みることを促すドラマ教材です。
D-42	くうとしの	アニメ	12分	認知症の犬・しのと、介護猫・くうの、感動の実話をもとにした道德・人権教育アニメーション。 もし、あなたの大切な人が認知症になってしまったら、あなたはその人に何をしてあげることができるでしょうか。年も性別も違う犬と猫の関係性を通して、視聴した子どもたちが自然と考えることができる、心がほっこりとする物語です。
D-43	うみとりくのからだのはなし	アニメ	16分	大事なことだけれど、なかなか話し合うのが難しいからだの話を、かわいらしい双子といっしょに、やさしいシンプルなことばで考えます。 性犯罪から身を守ることはもちろん、相手の身体を尊重する態度を身につけます。包括的性教育や、「生命の安全教育」の教材にも最適です。